



せのおひろゆき 妹尾博之 議員



補助金拡大と民間活力の利用で企業誘致を

議員 企業誘致の成否は、立地条件に加え経費の問題も大きいと考える。補助金制度の現状をたずねる。

市長 土地や家屋、設備取得額に対する補助率を引き上げている。

議員 かなりの額を引き上げるようだが、補助金は分割で支払うのか。

建設産業部長 立地に際して、企業はかなりの負担を強いられるため、一時金で支払う予定である。

議員 現在、笠岡港の県営工業団地以外には誘致対象の用地が無いように思うが、民有地も含めた具体的な用地確保の取り組みがなされているかたずねる。

市長 民間活力を利用した事業用地の造成を図るため、4月から製造業や道路貨物自動車運送業以外にも助成範囲を拡大し、限度額も1000万円引き上げる。あわせて、企業誘致を実現させるため、工業用地の適地調査の実施を検討する。

議員 県営工業団地については、道路事情や高潮対策が課題と考えるが、県との話し合いはおこなっているのか。

建設産業部長 道路の一部不等沈下により雨水がたまっていることや、高潮対策を急いで欲しいという要望は伝えている。前向きに検討いただいている。

議員 県道笠岡美星線までの区間が完成すれば国道2号バイパスまで二車線道路でつながり、時間短縮となり、沿線地域の活性化が期待できる。市としても早期完成を県に要請していくとともに協力したい。



おくのやすひさ 奥野泰久 議員

県道園井里庄線の早期実現策を問う

議員 県道園井里庄線は県も重要路線ということで、5年前から地元説明を開始している。県事業ではあるが、笠岡市としての取り組みをどうするか。企業誘致の受皿としての用地確保が急がれることから、市としても早急に対策を講じるべきではないか。

市長 県道園井里庄線は現在JRの軌道下を通るバイパス工事が施工されている。進捗状況を県に確認したところ、一部の同意がまだ得られていない状況であるが、引き続き了解を得るべく努力をしていると聞いている。

議員 北木石採石場の全景が観られる展望台はできないか。真鍋島を真鍋水軍、武士の島、要塞の島としてアピールできないか。



議員 企業誘致の受皿として、吉田、立石、空原周辺は農振地域から外れている地域もあり、調査をしてほしい。

建設産業部長 みの越の団地周辺や旧市街化区域周辺部、インター周辺部は可能性を秘めたエリアであり、調査は来年度で行う。

充実の中身で日本遺産へ認定を

議員 鶴田石材さんの採石場は主要な地域資源である。所有者による展望台設置により、安全対策や見学メニューが確立すれば支援の方法も含め協議したい。真鍋島は豊富な観光資源があり研究したい。

市長 鶴田石材さんの採石場は主要な地域資源である。所有者による展望台設置により、安全対策や見学メニューが確立すれば支援の方法も含め協議したい。真鍋島は豊富な観光資源があり研究したい。